

「本庁舎等の整備に係る市の基本的な考え方（案）」に対する
意見公募（パブリックコメント）の結果と市の考え方について

（意見募集期間：令和3年12月27日から令和4年1月26日まで）

令和4年2月

江別市 総務部（庁舎耐震化担当）

意見公募（パブリックコメント）の結果概要

■意見の募集結果

募集期間	令和3年12月27日（月）から令和4年1月26日（水）まで
提出者数	7名
提出件数	7件

■意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況	件数
A	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	1件
B	案と意見の趣旨が概ね同様と考えられるが、一部今後検討が必要なもの	5件
C	案と意見の趣旨が異なると考えられるが、一部今後検討が必要なもの	1件
合 計		7件

■いただいたご意見と市の考え方

(提出いただいたご意見につきましては、できる限り原文のとおりとし、受付順に掲載しております。)

No	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	<p>江別市民の方なら多くの方がご存知かと思いますが、江別市役所の本庁舎は、築年数がかなり経つ建物です。</p> <p>最近本州のほうでも、南海トラフ巨大地震の前兆をうかがわせるような中規模の地震が頻発しています。</p> <p>われわれ北海道民、そして江別市民も平成30年北海道胆振東部を経験しています。そうしたことを鑑みた場合、市役所というのは、市の象徴ともいえる建物ですから、そうした地震に耐えられる建物でなければなりません。市民会館も同様です。</p> <p>現在コロナ禍で市の財政も厳しいことかと思いますが、耐震対策として、税金を投入すべきところは、しっかりとした対策を組むべきです。</p>	<p>当市の本庁舎及び市民会館は、震度6強から7の地震に対する耐震性に疑問ありと判定されており、耐震化が必要な建物です。</p> <p>特に本庁舎については、災害時における来庁者や職員の安全を確保するだけでなく、防災・災害対策拠点として機能を果たすことが求められており、整備を急ぐ必要があると考えております。</p> <p>今後、財政見通しや国の財政支援制度の動向、事業の経済性を考慮しながら本庁舎等の整備に係る市の基本的な考え方を基に、本庁舎の建て替えに向けて更なる検討を進めて行く予定です。</p> <p>また、市民会館は、必要な機能などについて市民や利用者とは十分な時間をかけて議論する必要があるほか、本庁舎と合築する場合は、より多くの費用が一度にかかることなどから、耐震改修や建て替えなどの耐震化手法や事業手法等について、本庁舎の整備とは別に検討を進めることとしております。</p>	A
2	<p>市本庁舎建て替え案に賛成です。</p> <p>理由としては災害時など有事の際の拠点とならなければならないので、壊滅的な状況になってはならないと考えます。</p> <p>また、せっかく建て替えるのであればZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を取り入れランニングコストも含めた試算をするべきと考えます。</p> <p>太陽光発電などは有事の際に自立運転可能なもので普段は自家消費とし、公用車をEV（段階的に）にして蓄電池としても利用できるようにする。</p> <p>建屋地下に雪冷房用貯雪槽を設け、雪を冷房に利用し、暖房は地中熱ヒートポンプを導入する 等々</p> <p>ゼロカーボンに向けたことも盛り込んで頂きたいです。</p>	<p>今後、基本構想・基本計画・基本設計を策定していく中で、ご意見にあったZEBや地中熱ヒートポンプなどの省エネルギー化や脱炭素化といった環境への配慮のほか、太陽光発電などの防災・災害対策拠点に必要な設備等について、ランニングコストも含めて検討していく予定です。</p>	B

No	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
3	<p>江別市の本庁舎ないし市民会館の建て替えは、長年検討されてきたところであり、ようやく少し前進して形に表れたことを嬉しく思います。全体を通じて「本庁舎等の整備に係る市の基本的な考え方(案)」には賛成です。特に建設場所を「江別高校跡地を基本」とすることは、人口重心からの距離からも平衡が保たれていますし、他には警察署、総合社会福祉センター、河川事務所や保健所などにも近く、また「現在地」では仮庁舎設置のことも考慮すると、「江別高校跡地」が最適と考えます。</p> <p>このあとの現在地の跡地利用については、これから再考されると思います。市民会館の整備においては合築しないとの意見ですが、避難所施設としての位置付けからしても、本庁舎移転跡地などのそれなりの規模ないし敷地の確保が必要になると思われる。</p> <p>ただし、今後市民会館の建て替えについては、かなりの時間を要すると思われることから、本庁舎の整備と並行して最低限の改修工事などの整備を行う必要があると思われる。市設で一般市民が多く利用している建物において、耐震性不足により被災する危険性が想定されることは、事前に避けなければならない、早急な検討が必要かもしれない。</p> <p>なお、市民会館の整備部分については、今回の意見公募が本庁舎等を対象にしていることから参考意見にしたいと思います。</p>	<p>市では、浸水想定区域外であること、緊急輸送道路に近接していること、公共交通機関とのアクセスが良いこと、関連工事を含めた総事業費が抑えられることなどから、建設場所については江別高校跡地を基本としたところです。</p> <p>また、市民会館は、必要な機能などについて市民や利用者とは十分な時間をかけて議論する必要があるほか、本庁舎と合築する場合は、より多くの費用が一度にかかることになるため、必要な修繕等を行うなど現施設の適切な管理に努めながら、耐震改修や建て替えなどの耐震化手法や事業手法について、本庁舎の整備とは別に検討を進めることとしております。</p>	B

No	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
4	<p>資料を読ませていただきました。老朽化と耐震性の問題・狭あい化が起きていることは理解出来ましたが、時代に有っていない資料と調査アンケートである事にも見えました。</p> <p>5年後・10年後・20年後…の時間の推移に関する考察も無く、AIやネット・デジタルガバメントが進む事への記述も有りませんでした。</p> <p>『今の』市役所の職員が出来ないからと言って考える事を放棄せず、よく解らなければ専門家の意見を真摯に聞き・理解して10年後・20年後の現役世代の事を考えて欲しいです。</p> <p>極端なことを言えば、10年後に退職する職員のネガティブな意見など無視して良いし、立場上書くことは出来ないのですが、10年後に市役所に来るはずのない高齢者の意見も必要のない物は無視する判断力も必要です。</p> <p>資料について</p> <p>① DXで解決できる問題</p> <p>5ページ⑥の市庁舎の分散については、窓口の分散による複数の庁舎の往来など、すべてDXで解決できます。4ページ⑤の狭あい化については、会議スペースについてもDX、特にVRを使えば、A0を超える大きな図面でさえデスクに居るままで詳細な打合せも可能になります(アバターを使っての技術会議なども既に行われていますよ)。22ページの候補地の比較の(3)・(4)についても市民が来ることを前提にしているようですが、あと10年もすると意味をなさなくなるでしょう。(参考豊中市)</p> <p>10年後であっても市民の全員がパソコンやスマホを持っていて使えるわけではないという人もいるが、ごく少数でしょう。その人の為に自治会館等にパソコン(複数画面とプリンタ込み)を置いて管理人がコンシェルジュ(又はAIコンシェルジュ)を兼ねれば簡単に解決するでしょう。</p> <p>② 面積について</p> <p>17ページに8庁舎集約して20,000㎡必要としているが、これは、現時点の人数に掛け合わせているものですね。10年後・20年後にどれだけAIやその他の技術が発達して効率化され、結果必要面積が変わることが、一切検討されていません。</p>	<p>本庁舎等の整備に係る市の基本的な考え方(案)は、本庁舎等整備の検討の基礎となる「耐震化の手法」「建設場所」「建設規模」の3点について、これまでの検討経過を踏まえて市の考え方をまとめたものです。検討にあたっては、市内大学教授など有識者で構成する専門家会議も設置し、専門的な見地からアドバイスをいただきながら進めてきたところです。</p> <p>庁舎の分散については、利用者から多くの要望をいただいている手続の際に複数の庁舎に出向かなければならない状況の改善、さらには行政事務の効率化や災害対応の迅速化を図るために、解消する必要があると考えております。</p> <p>また、防災・災害対策拠点としての機能、プライバシーが確保された相談ブース、ワンストップ窓口のほか、バリアフリー化などすべての人にやさしい機能が求められており、今後の省エネルギー化等に対応するためにも、一定の規模が必要と考えております。</p> <p>市の基本的な考え方(案)では、本庁舎の規模は20,000㎡程度を想定しておりますが、今後は将来的な人口減少を踏まえた考察に加え、行政事務のデジタル化やAI化、DX化等について検討を行い、可能な限り規模の縮減に取り組む必要があると考えております。</p> <p>起債制度については、現在、道内9市で国へ新制度創設に向けた要望活動を行っているところであり、今後も引き続き活動を進めていく予定です。また、新庁舎完成までの間については、現在の本庁舎を適切に管理し、機能の維持に努め使用していきたいと考えております。</p> <p>アンケートに関するご意見につきましては、今後の意見聴取の際の参考にさせていただきます。</p>	C

完成して実働する8～10年後、そして20年・30年後を考えると必要な面積は激変するでしょう。どうしても必要なコアの部分を市で持って、時代によって減る可能性のある部分は賃貸で使用するなど、考える必要が有るでしょう。分散しても20年後の現役世代は前述のDXで解決できます(これからの若者をバカにしているのですか?担当者は)。

③ 市役所跡地について

前述の①・②を検討すれば、市役所の場所も規模も再検討の余地が有ると思いますが、現市役所のある場所と江別高校跡地は、江別市に残された纏まった一等地と呼んでも良い土地です。大手と組んでも市民会館を含めた、きちんとした魅力的な開発をするべきです(新札幌の再開発や北広島のボールパークなどによって、若者が離れて行ってしまいます)。一部にコアの部分や窓口を残すのは良いと思いますが、他の地域に負けない思い切った魅力的な開発を望みます。

④ 起債制度について

25ページに起債制度が終わったことと新規の耐震化の起債を求めている活動をしているとありますが、どうせ求めるのであれば、デジタル庁が描くデジタルガバメント・ガバメントクラウドに対応した市庁舎を作る名目での起債を起こしてもらおう活動をした方が、良いのでは?縦割りを打破したいと政府も言っているのだから担当省庁が異なっていて、かえって話題になり良いのでは、『縦割り行政の打破』を錦の御旗にしてはどうでしょう?

アンケート及びアンケート結果について

① 問2 回答者の年齢について

実際の人口の年齢比率と大きく違う回答者の比率となっています。これによりアンケート結果が、かなり高齢者よりの答えとなっている事が予想されます。

このままデータを読んでもと、間違った評価をしてしまうので、データを世代別に出す必要が有ります。実際の人口の年齢比に調整すると、違う見え方になるのではないのでしょうか。

一番多い70代以上の方は、新庁舎が出来たころには、ほとんど庁舎には来ない方ですし、60代の方も同様かと思えます。データの読み方・取り上げ方に注意が必要

です。

※以下のアンケート結果に対する意見は、このデータを元にしていて、間違えた意見かも知れません。

② 問5-1及び2・3・4 来庁頻度について 他

毎日来ている方と週に2～3回の方は、市の職員さんか出入りの業者さんでは無いでしょうか？

ほとんどの方は年に2～3回。車で来る方がほとんど。

5-3より、用件のほとんどがネットやコンビニで対応できる内容です。

このことから考えると、来庁する人の事は、ほぼ気にしなくても良いのでは？

前段で添付した豊中市の事案や他の先進的な市を参考に、『市民を来させない役所』を目指す方が良いのではないのでしょうか。

『市民を来させない』のであれば、5-4の不便に思われている内容のほとんどが解消されます。

③ 問7-1・2・3・4 新庁舎の場所などについて

ここまでの資料や設問に、ネットやコンビニで対応できる業務や10年後の社会の変化について、一切触れずにいた為に、この設問はコントロールされていると思います。

また、市役所のみ建て替えになってしまっていて、市民会館をどうするかについても問うべきだったと思います。

少し意地悪でこなれていないですが以下のような内容も問うべきだったのではないのでしょうか。

例1 コンビニやネットで対応できる業務が現状で別紙〇〇のように有り、今後も増えていくことが予想されるが、市庁舎を建てる場合建設場所はどこが適当と思うか。

1. ほとんどをクラウド上に移しても良い
2. 規模を抑えて現所在地又は江別高校跡地
3. 若葉町市有地
4. 交通の便がほどほど良ければどこでも良い
5. 端末を市内のあちこちに設置してもらえれば、何処でも良い

例2 これからのICT化やAI等に特化した市庁舎を計画した場合、対応できますか

1. 問題無く対応できる
2. まだできないが、数年後ならば準備ができる
3. 自分ではできないが、代行業者や親族・友人等を頼ればできると思う
4. とてもできないと思う
5. できないが、新市庁舎が出来る頃には、市役所に行く用事は無いので心配ない。

例3 (問7の設問と7-1の設問を合わせたもの)

1. その通りで良いと思う
2. 市民会館も含めて建替えた方が良いと思う
3. 新規に建て替える部分と市内の耐震性に問題のない物件も利用するのが良いと思う
4. 時代やテクノロジーに合わせてなければならないので、必要なものはその都度替わると思う
5. 街の顔として、商業施設などと一緒に開発を行った方が良いと思う
6. 場所も含めて、再検討するべきだと思う
7. その他 ()

④ 問7-5 について

この問いについては、特に世代間格差が出ると思われるので、データの精査が必要だと思います。

必要・どちらかがという必要で、70%を超えている設問のうち、AIやネット・デジタルガバメントが進む事で解決されると考えられるものは、②・⑤・⑥・⑦・⑫だと思います。

デジタルデバイドは、10年後も依然として有り格差は広がっているとは思いますが、市が求めているスキルを持つ人は、今よりも数倍(あるいはもっと)増えているのではないのでしょうか。スキルの底辺も上がっていると思われそうです。

対応出来ない業者さん・担当者もいるとの話を聞きますが、その業者さんは10年

後に一線で活躍しているのでしょうか？その担当者は仕事を仕切っているのでしょうか？
冷たい言い方ですが(市の職員さんは言えない言葉でしょう)対応できない業者さんは、市の仕事以外でも対応できないので、消えていくでしょうし、出来ない担当者は、窓際かクビになっているでしょう。

市役所の中でも、デジタルデバイドは大きいとの噂を聞きますが、もしも老害が居るのであれば早々に切らなければならないし、若手に能力が無いならば教育をしなければならないでしょう。

また、新しい市役所が出来るまでどうするのですか？

資料の26ページに有るように従来方式でも6年後、民間と組んで大規模に行えば8年以上かかる大事業です。その間どうするかという考えは、資料には書かれてはいません。緊急性が高いと言っている事案はどう対応するのでしょうか。

腹案などは有るのでしょうか。市の職員にとっては不便になるかもしれませんが、この様な案はどうでしょう(普通にやっていたらつぶれない役所にいるのだから、多少の不便は飲み込んでくれないかなあ)。

学生数が減っている大学の設備を借りることは出来ないのでしょうか。庁舎他+4大学に更に分散することにはなりますが、大学との協働や学生とのコラボなど出来ることも増えるでしょう。

大学側も、市と協働している事を売りにしたり市の職員向けの授業を企画したりと出来ることや外部にアピールすることも出来るでしょう。

さらには教授陣のモチベーションも上がるでしょう。打てば響く市の職員に教えるのだから！

何より、これから学生が急激に減る中、賃料という収入を確保し大学が減少する時代を切り抜ければ残存者利益を手に入れる事も出来るでしょう。

大学が有り若者が居るという事は、経済・労働力の面で、ものすごく大きな事だと思うのですが。

難しいとは思いますが、どうでしょう

ひょっとすると、学生と市の職員の結婚なんかが増えて、人口増もあるかもよ！

乱文、またつぎはぎの文章で筋が通っていない所も有りますが、要は20年後・30年後の現役世代の為に計画をして欲しいのでよろしくお願いします。

No	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
5	<p>建て替えには賛成です。場所も②（江別高校跡地）で良いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ワンストップで全ての業務が行われる利便性 ②環境（SDGs）に配慮した設計・建設 ③国庫よりの補助金確保を是非実現してほしい ④建物の所有は市にこだわらなくても良い 	<p>市では、経済的な面や、現在の庁舎が抱える様々な課題への対応面から、本庁舎の耐震化の手法については、建て替えとしたところです。</p> <p>今後、基本構想、基本計画、基本設計を策定していく中で、ご意見のあったワンストップ化や環境に配慮した設計について検討していく予定です。</p> <p>財政面では、新たな起債制度創設に向けて、引き続き国に対して要望活動を行っていくほか、事業手法については、行政主体の従来方式のほか、民間主体のPFI方式についても併せて検討していきます。</p>	B
6	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民の利用利便性、交通条件、市有地の活用から江別高校跡地での本庁舎建設を進めるべきである。 2. 現本庁舎や別館は耐震性から、災害活動拠点として機能できないことが明らかになった以上整備を急ぐ必要がある。 3. 現在、市の業務9庁舎に分散しており、利用する市民としては大変不便、すべてをまとめることは必要である。 特に環境センター、土木事務所、水道庁舎は迷惑である。 4. 議会庁舎は現在の規模で充分であり、拡充の必要はない。 5. 現在、大規模な利用がほとんどなく、市の会議利用が多い市民会館の同時建替えは必要ない。エポアホール、野幌体育館などの機能活用で可能であり、建替えを急ぐ必要がない。 市民会館の建替えより、分散している機能の集約が先である。 6. 庁舎として十分機能するには20,000㎡は必要であるが、ぜいたくなホール等は必要ない。スペースがあれば災害対策にすべき。 7. 建設は民間の知恵が生きるDB方式・ECI方式がよい。 8. 今後の進め方として、特定団体だけでなく、段階ごとに市民に丁寧に説明し、意見をよく聴くべきである。 	<p>市では、浸水想定区域外であること、緊急輸送道路に近接していること、公共交通機関とのアクセスが良いこと、関連工事を含めた総事業費が抑えられることなどから、建設場所については江別高校跡地を基本としたところです。</p> <p>また、経済的な面や、現在の庁舎が抱える様々な課題への対応面から、分散している8庁舎を集約して本庁舎を建て替えることとしております。</p> <p>市民会館については、必要な機能などについて市民や利用者との十分な時間をかけて議論する必要があるほか、本庁舎と合築する場合は、より多くの費用が一度にかかることなどから、耐震改修や建て替えなどの耐震化手法や事業手法等について、本庁舎の整備とは別に検討を進めることとしております。</p> <p>事業手法については、今後の基本構想や基本計画等を策定する中で、民間活用も含めて検討していくほか、段階ごとに市民説明会や意見聴取を行っていきたいと考えております。</p>	B

No	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
7	<p>1. 事業方式についてPFI方式を提案します。</p> <p>札幌市では現在PFI方式による中央区複合庁舎整備事業が進行中です。</p> <p>事業手法については、2016年度「札幌市PPP/PFI優先的検討指針」を策定し、中央区複合庁舎については、2019年4月策定の基本計画において、3事業手法の定量、定性の両面による比較検討を行い、PFI方式を採用しました。</p> <p>江別市について考える時、市立病院の累積欠損金、野幌の「江別の顔づくり事業」への投資等、資金面に大きな問題を抱えており、市が負担する初期投資額の大きい従来方式と民間が資金調達するPFI方式とでは、この面だけで比較してもPFI方式を採用するメリットがあると思います。</p> <p>中央区複合庁舎は清水建設、大成建設、鹿島、大林組4グループ参加による入札を行い、2021年2月、大成建設グループ（代表企業：大成建設㈱、構成企業：伊藤組土建㈱他）が落札しました。100億円を超える大型事業となれば、技術力、組織力から言って、日本を代表するような大手一流企業の参加は不可避です。</p> <p>2. ㈱日本政策投資銀行（略称DBJ）によるPFIの学習会開催を提案します。</p> <p>PPP/PFIを日本に持ち込み、現在のように広げたのはDBJで、知見、提案力などでは道内銀行とは比較できない大きな蓄積があります。</p> <p>講師派遣を依頼し、市職員だけでなく、市民を加えて勉強し、PFI方式の採用可否を考えたいと思います。</p>	<p>事業手法には、行政主体で行う従来方式や、民間主体で行うPFI方式などがあり、PFI方式についてはご意見にありますように、市の支出を平準化できることが大きなメリットであると認識しております。その一方で、設計や維持管理の計画は事業者が主体となって行うため変更への対応が難しく、管理運営上でも柔軟性に欠けるなどのデメリットもあると言われております。</p> <p>事業手法の決定にあたっては、基本計画等の中で行う予定であり、今後、様々な方面から話を聞くなどしてPFI方式等に関する調査研究を進めていかなければならないと考えております。</p> <p>現在市では、庁舎建設に係る有利な起債制度の創設について、国に対して要望活動を行っているところですので、国の動向についても注視しながら、市の財政負担をできるだけ軽減し、市や市民にとって一番メリットの大きい事業手法を選択する必要があると考えております。</p>	B